

科目名		情報処理実習				
担当教員		渡邊 美歌		実務授業の有無		
対象学科		測量建設科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方		プレゼンテーションに役立つ知識を身につける事を目的としている。また前期授業最終週には検定試験を受ける。全員が合格することを目指す。				
学習目標 (到達目標)		PowerPointを使いこなせる力を養うこと。その結果として検定を取得することを目標としている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		PowerPoint2019クイックマスター、サーティファイ検定対策テキスト、iPad				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	授業の準備 (授業データのインストール)			学内LANの設定、Officeソフトのインストールおよびアカウント設定、授業データのダウンロード		
2	プレゼンテーションの作成と文字編集			PowerPointの画面構成と文字の入力、箇条書きの設定について学習する。		
3	オブジェクトの作成			図形描画と編集・ワードアート・画像ファイルの挿入について学習する。		
4	表やグラフの作成			表の作成と編集・グラフの挿入について学習する。		
5	表示効果とハイパーリンク スライドショー			画面切り替えとアニメーション、スライドショー、資料の作成と印刷について学習する。		
6	プレゼンテーションのカスタマイズ			スライドマスターやセクションの作成など、プレゼンテーションをカスタマイズすることを学習する。		
7	SmartArtの活用			図表をいかに上手に使えるかがプレゼンテーションでは重要。SmartArtを使用して、図表を作成する流れを学習する。		
8	オブジェクトや表・グラフの活用 検定対策			図形や画像の活用について学習する。検定への本格的な対策を開始する。		
9	検定対策			検定対策練習問題を使用し、検定への力をつける。個人的にアドバイスをしながら、合格レベルまで高める。		
10	検定対策 (模擬試験)			検定対策模擬問題を使用し、検定本番と同じように問題を解きながら進める。個人的に弱い部分を見極め、対策する。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
平常点	課題	検定結果		最近PowerPointが幅広い使われ方をするようになってきました。検定取得を目標としながら、その中で操作をしっかりと習得しましょう。多くの課題に取り組んでいただくことも多いです。メリハリをつけながら良い授業を一緒に創り上げていきましょう。		
5 %	25 %	70 %	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		企業のデータ処理等の請負業務、雇用対策講座・パソコン教室でのインストラクター業務				